

再発急性前骨髄球性白血病(APL)に対するTamibarotene(Am80)と亜ヒ酸(ATO)の併用、寛解後療法としてGemtuzumab Ozogamicin (GO)を用いた治療レジメンの有効性および安全性検証試験 -第II相臨床試験

本研究の対象に該当する可能性が有る方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせください。

名古屋記念病院 血液化学療法内科 粥川 哲
電話:052-804-1111

研究課題名	再発急性前骨髄球性白血病(APL)に対するTamibarotene(Am80)と亜ヒ酸(ATO)の併用、寛解後療法としてGemtuzumab Ozogamicin (GO)を用いた治療レジメンの有効性および安全性検証試験 -第II相臨床試験
研究の内容	再発急性前骨髄球性白血病患者を対象として、Tamibarotene(Am80)と亜ヒ酸(ATO)の併用療法での再寛解導入を実施し、地固め療法としてGemtuzumab Ozogamicin (GO)を用いる一連の治療レジメンの有効性および安全性を検討する。
研究依頼者	中国中央病院 血液内科部長 木口 亨
研究責任者	血液・化学療法内科 部長・副院長 粥川 哲
研究分担者	血液・化学療法内科 科長 吉田 嵩 血液・化学療法内科 医員 丸茂 義晃 血液・化学療法内科 医員 上谷 綾祐美 西暦2020年 4月 7日 熊谷 柚紀
倫理審査	西暦2021年 1月14日
研究予定期間	西暦2021年1月14日 ~ 西暦2026年10月31日
公表	研究結果は、学会や論文で発表されることがあります。
プライバシー	本研究では、名前、住所、電話番号などの個人情報を使用しません。
利益相反	本研究における、研究責任者、分担医師いずれにおいても、開示すべて利益相反はありません。
問い合わせ	本研究について詳しく知りたいときは、下記までご連絡ください。 電話052-804-1111 血液化学療法内科 粥川 哲